

新春 お年玉付き  
クロスワードパズル



答え A ー B C D う E F

- ヨコのカギ
1. 奈良公園にたくさんいるスマートなスタイルの神の使い。
  3. お正月の遊び、福笑いのぶっくりふくれた顔は？
  6. ザラメで作るふわふわなお菓子。祭り屋台の人気者。
  7. ハチが集めたものを、人間様がちゃっかり横取り。ごめんね。
  8. 丸太や竹を並べて結び合わせ、水上に浮かべます。
  10. 白山神社の〇〇〇のしめ縄は、西区の講の方々も奉納しています。
  12. 風邪引き、腹痛、何科のお医者さんに診察してもらおうかな？
  14. 埼玉県にある市、夜祭など有名。
  16. 西区の特産物。上品な甘みが特徴のさつまいもの名前。
  18. 甘くておいしい新潟すいか、種の色は？
  19. 料理に欠かせない調味料。でも取り過ぎは要注意。

- タテのカギ
1. 顔にできた〇〇はとれないが、布にできたものはアイロンでとれます。
  2. 春、山野に咲くユリ科の花。春の妖精と呼ばれています。
  3. 与えられた悪い評価を挽回することを〇〇〇返上と言います。
  4. 高い所にある物を取る時に使います。落下注意。
  5. スニーカー、ブーツ、パンプスなどの総称。おしやれば足元から。
  9. 金色のコートを着たコガネムシ科の昆虫。ブンブンと賑やかです。
  10. 新潟県の「県の鳥」の羽、淡く優しい桃色です。
  11. 越の雫は有名です。無花果と書きます。
  13. プナ科の常緑高木、どんぐりのなる木です。
  15. 弦楽器の一種、見た目はバイオリンのお兄さん。
  17. 山、川、池などの民話によく登場します。わしはこの池の〇〇だ。

### 11/5 (日) スポーツ鬼ごっこ西区 Cup ～スキルアップセミナー＆小学生大会～

スポーツ鬼ごっこ普及啓発事業は、西区自治協議会が平成 27 年度から取り組んできた事業です。今回はその集大成として、共催の Oni Base Niigata と共に初めて大会を企画しました。



西総合スポーツセンターを会場に西区内より 14 チーム約 110 人の小学生が集まり、熱い戦いを繰り広げました。

スポーツ鬼ごっこは、2 チームで対戦し、時間内に相手陣地の「宝」を多くとった方が勝ちとなります。チームで作戦を練り、声を掛け合うことが重要で、コミュニケーション能力も向上します。

この日は、高学年の部、低学年の部に分かれて戦い、それぞれ優勝、準優勝に賞状が授与されました。勝っても負けても前向きに試合を楽しむ子供たちが印象的でした。

また、同日午前中には指導員、審判員のスキルアップセミナーが行われ、参加者からは「目から鱗の講習会でした」との声が聞かれました。

引き続き午後の大会で審判を担当した参加者からも「習得したスキルをすぐに実践できてよかった」と好評でした。

これからも、スポーツ鬼ごっこが地域の中に浸透していくことを期待したいと思います。

タイトル  
こんにちは赤ちゃん  
一言コメント  
姉弟仲良く過ごしてね  
ペンネーム  
はる

とっておきの一枚

編集後記

西区自治協議会提案事業である「記念講演会」や「アートフェスティバル」、「スポーツ鬼ごっこ」は大盛況でした。開催にあたっては区民の皆様にご支援をいただきありがとうございました。

また、「西区を豊かに」への皆様からの「意見や」とっておきの私の一枚への写真のご応募など、日頃のご協力に感謝を申し上げます。

引き続き、「西区を豊かに」の制作に一同励んで参ります。今年もよろしくお祈り致します。

(小林直起)

# 西区を豊かに



明けましておめでとうございます。西区自治協議会会長の岩脇正之です。区民の皆様には健やかに新年をお迎えのことに、心からお慶び申し上げます。西区自治協議会は、区民と行政の協働により住民自治を進め、各委員が専門部会とプロジェクトチームに所属し、豊かで住みよい地域づくりをめざして、防犯防災・福祉・教育・まちづくりの活性化等さまざまな活動を行っています。本年もよろしくお祈りします。

発行者 新潟市西区自治協議会  
会長 岩脇 正之

事務局 〒950-2097  
新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内  
TEL : 025-264-7161 FAX : 025-269-1650  
E-mail : chiiki.w@city.niigata.lg.jp

ロゴマークの意匠  
西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟すいか、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽を乗せました。

## 今年の西区ふれあいカレンダー

西区自治協議会によるカレンダーが今年も発行されました。地区の特産物・観光地にかかわる公募写真、そして各スポットの「今」と「昔」の様子がセットで掲載されています。キャラクターイラストや総合デザインは、新潟大学の学生さんをお願いしました。ここに一部をご紹介します。

5月 寺尾中央公園のチューリップ

7月 スイカ畑の収穫風景

8月 茶豆畑

9月 田園風景 はざかけ

12月 日本海の夕日

チューリップ

まめ蔵

お米のかみさま

昔は田んぼの畦道にだけ種まきした

新川の河口にイワシの漁船が停泊中

応募の決まり

①クロスワードの答え、②広報紙の感想・自治協議会活動への意見、③住所・氏名・電話番号を記載し、郵送またはメールにて応募ください。

正解者の中から抽選で20名に図書カード1,000円分をプレゼント!

締め切り 平成30年2月9日(金) 必着

送付先 広報紙1面の「事務局」あて

当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

「西区ふれあいカレンダー」残りわずかとなりました  
1面に掲載した「西区ふれあいカレンダー」は、好評につき残りわずかとなりました。お求めの方はお早めに西区役所まで。

パソコン・スマートフォンでもご覧になれます！  
Web版西区を豊かに (西区役所ホームページ内)





# 西区自治協議会発足10周年 記念講演会

9月17日(日)、18日(月・祝)の二日間にわたり、黒崎市民会館において実施した西区自治協議会発足10周年記念講演会の講演内容を特集しました。両日とも会場は満席で、来場者のアンケートでは講演内容の評価において非常に高い満足度の数値を頂戴しました。また、自由記載では「面白い内容、わかりやすかった」「楽しい防犯の話大変参考になった」「プロジェクトXの秘話が感動的だった」などと数多くのご感想やご意見をいただきました。今後の企画づくりにつなげていきたいと思ひます。

## 防災講演会

### 「気象情報は防災の道しるべ」

気象予報士・(株)ウェザーマップ取締役会長  
講師 森田 正光 氏

テレビでお馴染みの気象予報士の森田正光さんが、まさに当日新潟に向かっている台風18号をテーマに、新潟での雨の降り方、風の吹き方について、軽妙な語り口で説明されて、防災の基本は、正確な情報を伝えることにあると強調。

続いて、エルニーニョ現象による温暖化・異常気象との関わりをデータに基づいて分かりやすく解説されて、「地球の温暖化、ことに海水の温度が上昇している。この温度を冷やすために、大雨が増えている」と大気の上昇気流と下降気流のメカニズムを紹介されました。

さらに風速140mの竜巻の怖さを紹介した後に、注意報と警報の種類に触れて、災害は注意報レベルから警報に変わると一気に危険度が高まること。最近、特別警報ができたので警報を軽んじる傾向にあるが、特別警報が発せられたときは既に災害が起きている状況であることを知ってほしい。気象情報で一番重要なことは、今の情報から出発することにある。状況が変わったら今の情報は捨てて新しい情報を仕入れなければならない。「今日晴れて明日も晴れるとは限らない」常に状況を把握することが大切である。まさに「あしたはあした」であると力説されました。



人間には「正常性バイアス(偏見)」といって、危機にひんした時に「自分だけは大丈夫」という思い込みをしてしまったり、「みんながそうするから自分もそうする」という「多数派同調バイアス」が生じて、周囲の人の行動に左右されてしまったりする。こうした誤ったバイアスから逃れるには、地震や災害に関する正しい知識を持つことが必要である。知識を得ることが、身を守ることや防災に役立つと話されました。冗談を交えた軽妙な話術で会場を沸かせていました。

## 防犯講演会

### 「笑って楽しく防犯落語」

新潟県防犯アドバイザー  
講師 三流亭楽々 氏



新潟県警に長年在職された経験をもとに、オレオレ詐欺や振り込め詐欺についてクイズを交えながら面白おかしく注意を呼びかけていただきました。

詐欺については、私はだまされるかもしれない、気を付けようという「用心」がないと、どんなに「気を付けてね」と言っても頭に入らない。啓発

チラシを見ても、「おら関係ない、他人事だ」と思ってしまう。声やしゃべり方が違ってもせがれだと思っただまされてしまう。人間いかに簡単にだまされてしまうか、自分は大丈夫だと絶対思わない事が大事とのことでした。

「お母さん助けて、会社のお金使い込んじゃった。500万円持ってきてよ」。人間びっくりすると15秒間頭が真っ白になり、その間に言われたことは無条件に従ってしまう性質があるとのこと。そんな時にせがれの生年月日を思い出せるわけがない。事前にせがれと合言葉を決めておくか、せがれしか知らない質問を2、3用意し、怪しいと思ったらそれを質問する。それを壁に貼っておけば突然の電話でも落ち着いて対応でき、相手が答えられなかったら切ればいいと話されました。

一番いいのは昼間の電話には出ずに留守番電話にしておくことだそうです。詐欺師は自分の声を録音されるのを嫌うので留守番電話だと切ってしまう。友達には、「私、留守番電話にしておくけど、折返し電話するよ」と伝えておけばいい。出なきゃだまされない、出るからだまされると語られました。

何かあったら一人で決めずに、まずは警察、銀行、市役所、消費者ホットライン(188)に相談するよとのことです。

社会人落語日本一決定戦優勝歴を持つ一流の話術に場内は終始笑い声に包まれました。来場されたみなさんは、防犯に対する意識を高める大切な機会となりました。

## 幸齢いきいき講演会

### 「生きがいと健康づくり」

NPO法人 日本トレッキング協会会長  
元NHKエグゼクティブアナウンサー  
講師 国井 雅比古 氏

冒頭いきなり「『健康づくり』なんて僕には向かない演題だが、話を聞いてあんな暮らしをしていたら病気になるのだと思ってください」と切り出されました。

生活習慣病・高血圧・高脂血症・心臓病・胃がん…45年間、自分をいたわらなかったことへの代償。心電図に異常が見つかり、心臓の10%しか機能していないというので緊急入院し、冠動脈にステントを装着する治療を受けたという話に驚かされました。



NHKアナウンサーとして数々の番組を担当された国井さん。そんな中でも「NHKプロジェクトX」は、「東京タワー」「黒部ダム」「瀬戸大橋」「青函トンネル」等々で、命がけで使命を全うされた人々との出会いを顧みると、5年間やって本当によかったと思える作品で、番組制作は、私にとってまさに生きがいであったし大切な財産となっていると語られました。

NHKの「小さな旅」は約35年もの長寿番組で、新潟へも12回ほど取材に来られたそうです。なかでも「阿賀の杉起こしに励むご夫婦」「東京銀座に40kgもの荷物を背負って行商し続けた女性」が印象に残っているとのこと。淡々とただ懸命に生きる姿勢に接し、拝みたい衝動にかられたこと。自分の胃がんと手術後、痰が切れなくて苦悶していた時だったので、「生きているだけでいいんだ。特別なことをしなくとも、今生きていることに感謝し日々暮らすことで、ささやかなことにも喜びが見出せる。幸せになれる」ということを、その人達に教えられ、生きることへの力をもらったと話されました。

何しろ日本トレッキング協会会長なのだから、少し体を鍛え直して、来年は世界に名だたる高い山に登りたいとの希望も語られました。

終わりに、習い始めたという歌「さくらんぼの実る頃」を朗々と歌われ、大きな拍手の中降壇されました。

## 第5回

# 西区アートフェスティバル

学術文化豊かな西区の力を発信し、区民で財宝(たから)を共有することを目的に、10月21日(土)、22日(日)、黒崎市民会館を会場として、今年で第5回目となる西区アートフェスティバルを開催しました。

当日は、昨年を上回る多くの方からご来場いただき、音楽・芸能部門では、合唱、合奏、芸能、ダンスの計16団体が出演し、素晴らしい演出が来場者を魅了しました。

## アート展示部門の紹介



新潟大学教育学部美術科学生による空間演出作品(流木アート)



区内小学生の自由研究優秀作品

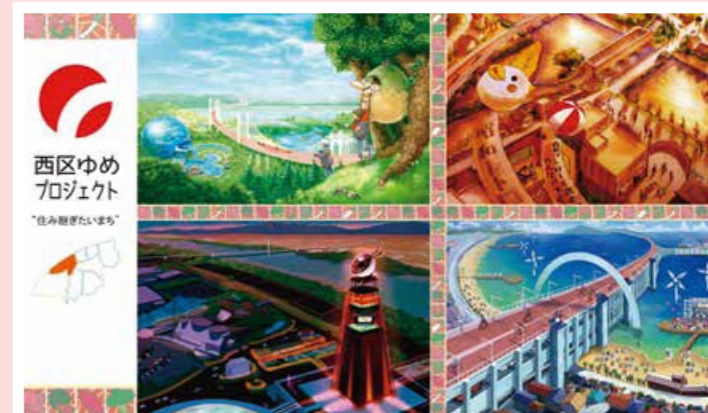


1 新潟大学教育学部美術科学生による空間演出作品

2 区内小学生の自由研究優秀作品

3 ゆめプロジェクト「夢の区の姿」

4 ふれあいカレンダーのイラスト原画と公募写真



ゆめプロジェクト「夢の区の姿」